

中日病院 だより

中日病院（名古屋市中区丸の内）は今年、開設から六十年を迎える。「地域の皆さまに信頼される病院」を理念に掲げ、他の医療機関とともに名古屋圏の医療を支えてきた。高齢化がますます進む中、病気やけがの治療法、健康づくりなどを中日病院の医師らが毎週、紹介する。

高齢化や食の欧米化が原因で近年、大腸がんの患者が増えています。健

康診断で便潜血が陽性だったたり、便秘やおなかの張りを感じた場合、がんやポリープの恐れがあり、内科の受診が必要です。治療は早期発見が最も



① 大腸CT (消化器内科)



中日病院 診療科目は内 午前のみ。午後が1〜4時（予約のみ）。アクセスは地下鉄「丸の内」から徒歩6分。「久屋大通」から徒歩8分。「市役所」から徒歩10分。住所は名古屋市中区丸の内3の3。☎052(961)2491

科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、歯科口腔（こうくう）外科など。診療の受付時間は午前が8時30分〜11時30分（新患は

治療は早期発見が最も



白木茂博 院長

大切です。しかし、肛門から内視鏡を入れる大腸ファイバー検査は「苦しそうだ」と嫌がる人が多いです。当院では、コンピュータ断層撮影（CT）で大腸の三次元画像をつくり、診断する検査を毎週月曜と木曜



検査用の三次元画像をつくるため、大腸をく、検査後の苦痛もほとんどありません。脾臓や胆のう、肝臓、腎臓など腹腔内の異常も調べられます。ただ、平らな早期がんや小さい病変、腸の炎症などを発見することはできません。

の午後に行っています。病気が疑われながら

前日に下剤を飲み、検査も、検査自体を避けていた方が、大腸ファイバー検査は一回十の段階として、まず大腸CTでの検査を勧めます。大腸CTでの検査を勧めます。大腸CTでの検査を勧めます。

検査短時間、苦痛少なく